

市政発展の功労者を表彰

秘書課 ☎(235)4572

11月1日、「海老名市市制施行43周年記念式典」が行われ、市政の発展に尽くされた方を表彰（一般表彰23人・1団体、感謝状42人・13団体）しました。表彰者は次のとおりです。（敬称略・順不同）

◎一般表彰

- ▼消防行政
 - 【消防団長】松本英明
 - ▼地域医療
 - 【市立保育所嘱託医】大島充一
 - 【学校薬剤師】岡西敬一
 - ▼福祉振興
 - 【民生嘱託員兼児童嘱託員】小林佳子▼青木輝子▼池田崇子▼大石のお▼布川八重子▼藤居征子▼吉澤弘▼滝澤忠男▼高木國満
 - 【介護認定審査会委員】町田清風
 - 【保護司】青木勝彦
- ▼鈴鹿晴美
- ▼坂田喬
- ▼交通安全
 - 【交通指導員】鈴木聖二
 - ▼教育振興
 - 【教育委員会委員】田中裕子
 - 【青少年指導嘱託員】神崎健治
 - ▼杉崎榮司
 - ▼藤田才
 - ▼木島康男
 - 【市史編集員】神崎彰利
 - ▼多額寄付
 - 【新日本舞踊伴翠流家元伴翠園華

◎感謝状

- ▼自治振興
 - 【外部評価委員】成瀬源子▼小島文子
 - 【下今泉コミセン管理運営委員会会長】塩脇榮
 - ▼地域医療
 - 【学校歯科医】篠原明仁
 - ▼福祉振興
 - 【民生嘱託員兼児童嘱託員】碓水富士恵▼伊地知清美▼岡本孝枝▼高橋フミ▼荒川ヨシエ▼平本妙子▼富澤晴美▼吉村フサエ▼笠間好子▼深澤春美▼堀矩明▼西海光夫▼霜田さよ子▼大貫節子▼保坂由江▼大手サヨ子▼宮田秀憲▼石川武司▼須田千代子▼三上美恵子▼田口稔▼高橋弘光▼田口照子▼遠藤泰幸▼加藤彰久▼宮墓隆雄▼廣崎雅章▼山田早苗▼伊藤滋己▼尾山眞輝子▼落合奈加子
 - ▼教育振興
 - 【青少年指導嘱託員】深澤進
 - ▼勝俣巖
 - ▼窪倉慎一郎
 - ▼鴨志田昌弘
 - ▼伊藤耕修
 - ▼田中潔
 - ▼多額寄付
 - 株式会社タズミ
 - カラオケスタジオオカナリヤの里
 - 横浜信用金庫
 - 海老名市建築職組合
 - 中野堤外地組合
 - 有限会社アマノ石材
 - アゼアス株式会社
 - 海老名ドライバースクール
 - ココ・コーリーストジャパン株式会社
 - 三浦観二
 - ダイセーロジスティクス株式会社
 - 一般社団法人神奈川県サッカー協会
 - 海老名飛鳥ライオンズクラブ
 - 相鉄企業株式会社

外部評価の結果を参考に

市の事業、前年度を見直して次年度へつなげます

企画財政課 ☎(235)4634

市では、行政活動の目的を明確化し、活動の結果や成果について一定の基準・視点に沿って評価し、行政運営の改善につなげることを目的に、行政評価を行っています。

市で行っている行政評価には、実施計画事業を所管する各課などが行う「担当部課評価」、行政評価を統括している財務部の長などで組織する、市の行財政改革推進委員会が行う「内部評価」、市職員以外の者が行う「外部評価」の3つがあります。ここでは、平成25年度事業に対する評価結果の一部を例に、その結果を受けた担当部課などの方向性を含め、外部評価について皆さんにお伝えします。

外部評価とは

外部評価は、適正に行政運営を行うため、市内部で実施する事業評価に加え、市民や外部有識者の皆さんに再評価をしてもらい、今後の事業運営に生かしていく行政評価のことです。

市では、市が実施した評価に客観性と信頼性を持たせるために、学識経験者、公募市民など12人の委員で構成する海老名市外部評価委員会の行政評価を、平成18年度から実施しています。今年度の外部評価は93の事業に対して実施。ほかに、評価手法や市の行政評価に取り組み姿勢などについても意見をいただきました。



▲外部評価委員会で評価結果をまとめ、市長に報告書を提出

評価結果を公開中

行政評価の結果は、企画財政課で配布しています。また、市役所1階の情報公開コーナーや市ホームページでも公開しています。

外部評価実施事業の一例

◆公共下水道（雨水）の整備

・外部評価判断 **見直し拡大**

▼理由 雨水整備面積率が低い。集中豪雨が頻発している昨今、市民サービスを考えると早急に整備率を上げる必要があるのではないか。

・担当部課の方向性 **見直し継続**

▼理由 多額の費用が掛かることから、浸水被害が激しいところを集中して整備するなど、整備の効果を最大限に発揮できるよう進めていく。

◆地域活性化実証実験 釣り堀（杉本小学校プール跡）

・外部評価判断 **見直し継続**

▼理由 独立採算を模索する地域住民の取り組みは、地域活性化の成功例として自治会の意向を反映しながら継続していくことを期待したい。また、ほかの地域で提案があったときに支援できる仕組みも必要ではないか。

・担当部課の方向性 **見直し継続**

▼理由 使用しなくなった施設を利活用した特色ある地域づくり・活性化など、一定の成果が出ている一方、「利用者減」「天候に左右される運営」などの課題もある。団体利用の促進や季節ごとの運営時間の見直しを含め検証を続ける。また、他地域での提案について、支援の仕組みを研究していく。